

書道 II

教科のねらい

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

書道 II	単位数	2 単 位
-------	-----	-------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 書の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てる。 2. 感性を高め、書の文化や、伝統についての理解を深める。 3. 個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
使用教科書 副教材 等	書道 II (光村図書)

2. 学習計画および評価方法

学期	学 習 内 容	月	学 習 活 動
第 1 学期	・オリエンテーション	4	・年間の授業の進め方及び学習方法を知る。
	① 刻字の学習	5	・板に字を刻す(立体性)
	② 漢字の書 ・篆書の学習	6	・書風の比較と鑑賞(様々な年代の篆書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する)
	③ 漢字の書 ・隷書の学習		・書風の比較と鑑賞(様々な年代の篆書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する)
[課題・提出物等] ・毎時間の作品と授業ノート			
第 2 学期	④ 漢字の書 ・草書の学習	7	・書風の比較と鑑賞(様々な年代の篆書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する)
	⑤ 半切 1/2 作品制作	8 9	・今まで学習した書体から選んで臨書作品を作る。
	⑥ 漢字仮名交じり書の学習	10 11	・修学旅行の思い出の作品制作(これまでの書の学習を生かした表現で)
	[課題・提出物等] ・毎時間の作品と授業ノート		
第 3 学期	⑦ 細字の書 ・原寸大臨書	12	・古典を原寸大で臨書する。
	・写経	1	・写経の歴史・技法を学ぶ
		2	・清書(写経用紙)
[課題・提出物等] ・毎時間の作品と授業ノート			
[年間の学習状況の評価方法] 上記の課題作品の制作を通じて、次の「授業を受けるに当たり(心得)」と「評価基準」とで総合的に評価する。年間を通じて定期考査は行わない。			

授業を受けるにあたり（心得）

2年生は、3年次に書道を選択しなければ来年度は授業がありません。今後、社会に出て筆を持つ機会もないかもしれません。そういう意味で今年も、気持ちを込めて丁寧な制作に取り組んでほしいと思います。

授業は以下のことを心がけて受けてください。

1 単位認定条件

- (1) 欠課が規定の時数を越えないこと
- (2) 作品等の制作を終了し、提出すること。原則として年度内には全作品を提出すること。

2 心がけてほしいこと

- (1) 作品はほぼ毎時間提出します。その積み重ねが評価につながります。
- (2) 授業を大切に。やむを得ない場合を除き、欠席、遅刻をしないように心がけよう。遅刻した時は、教科担当に申し出ること。また、教室移動をしたらすぐ道具の準備をしよう。
- (3) 教室や用具、作品を大切にしよう。自分の物も他人の物も。
- (4) 片付けの指示が出るまでは制作に集中しよう。携帯電話などは言語道断。私語や、席の移動は人の迷惑にもなります。
- (5) 毎時間授業ノートを書くので筆記用具を持参すること。人を頼りにしない。
- (6) わからないことは遠慮せず聞いてください。